

本校の校長の阿部 孝 と申します。よろしくお願いいたします。本日は、10連休のスペシャルゴールデンウィークで何かとご多用のところ、PTA総会にご出席いただき誠に有難うございます。また、保護者の皆様には、日ごろより本校の教育活動に対しましてご理解とご協力・ご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、時が経つのが早いもので、新年度になりまして約1ヶ月が過ぎようとしています。おかげさまで、新年度をスムーズにスタートすることができました。

県全体の少子化にともなう生徒数の減少に対応するために、今年度の入学生から普通科が1学級減り4クラスとなり、食料生産科と情報経営科を合わせて学年6クラスとなりました。今年度は、新入生240名を迎えて全校生758名でのスタートとなりました。創立当時の学年10クラスの時代から見ますと生徒数はだいぶ減少しましたが、それでも、学年6クラスある学校は県内でも大きな学校の1つであります。これに先生方全員を加えますと、830名ほどにもなります。この一人ひとりの力を結集して大きな力にして、今年も「チーム明新館」を合言葉に活気ある上山明新館高校にしていきたいと思えます。

さて、間もなく新たな元号・令和(れいわ)時代の幕開けとなりますが、今、教育界でもこれまでにないような大きな改革が進められております。

少子化による極端な人口減少や国際化、人工知能への対応など、変化が激しい時代に必要な、資質と能力を育成するために学習指導要領が改訂され、早速今年から一部の内容について先行実施となります。また、これに合わせて、高大接続の大学入試の改革も同時に進行中で、現在の2年生の大学入試からは、これまでのセンター試験に代わり、「大学入学共通テスト」が始まります。これは、大学入試に「英語の民間検定導入」や「記述式問題の導入」など、国・公立大学だけではなく私立大学も含め、大学入試そのものの在り方が変わりますし、調査書なども大きく変わることとなります。

さらに、この4月からは「働き方改革関連法」が施行され、国をあげて、すべての職業での改革が進められております。テレビの番組で、「私、定時で帰ります」という番組ができるほどです。(働き方改革は、電通の若い女性職員が長時間労働により自殺した事案が発端・・・)学校においても例外ではなく、長時間勤務の是正などが求められ、効率的な勤務のあり方と部活動のあり方についての再考が求められているところです。

本校においても、いわゆる「過労死ライン」と言われている月100時間を超えて勤務している先生が相当数おりますので、深刻な状況にあります。本日は、国のガイドラインなどに沿った本校の考えや、「時間外の留守番電話」等、具体的な内容について説明をさせていただきます。しかしながら、本来の教育活動の停滞やこれまで学校を支えてきた部活動をはじめ、諸活動での活力を失ってはならないと強く考えているところです。

P T A活動は、学校の主役である生徒達が、3年間、本校での充実した高校生活を送るために、保護者の皆様と私たち教職員が手を携えて活動するものあり、そのことが成長に繋がっていく大切な組織であると考えております。子どもたちのために、具体的に、何を・どうできるのか、P T A活動を通して、一緒に考えていきたいと思えます。今年も、何かと様々な形でご理解とご協力をいただきますのでよろしくお願いいたします。

本日、皆様にはこの総会、そして教育振興会総会、学年P T A総会、学級懇談会と続きますが、P T A活動の更なる活性化のために、そして、生徒の充実した高校生活のために、忌憚のないご意見やご要望をいただきますようお願いを申し上げます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。